

○臨床心理職員専門試験問題例

次の架空事例を読んで、設問1～5に答えなさい。

≪架空事例≫

X年6月、児童相談所においてFの療育手帳更新の判定を、児童心理司としてあなたが担当することとなった。

対象児童 F：男児、8歳、小学校3年生

相談の経過

X－3年：療育手帳新規交付申請を受け、判定実施

Fは在胎35週、2170gで出生。合併症は特になし。あまり泣かずおとなしい赤ちゃんだった。定頸5か月、四つ這い11か月、始歩1歳5か月。初語は1歳10か月「ブー（車、の意）」。1歳6か月児健診では、保健師に、出生した病院で経過観察を受けていると伝えてフォローを受けなかった。なお、3歳児健診は受けていない。

3歳より保育園に入園し、2語文が話せるようになった。4歳児クラスになり、保育園からFの理解力の幼さや集団行動が難しいことを指摘され、母が病院の小児科で相談の上、療育手帳の取得を決意して申請した。

家族は会社員の母、姉E（Fの4歳年上）、F、弟G（Fの1歳年下）の4人世帯。実父（母の3歳年上）は育児協力せず、母方祖母の協力はありながらも、E、F、Gの日々の世話をほぼ母一人で行う状況だった。Fが3歳時に実父が家を出る形で父母離婚、以降実父とは交流なし。母の12歳年上の男性が時々この家に泊まりに来ており、近々、母は再婚して異父きょうだいが生まれる予定。

判定では、Fに新版K式発達検査2020を実施し、結果は、発達指数（DQ）73、発達年齢（DA）4歳0か月、生活年齢（CA）5歳6か月、療育手帳B2該当であった。母はFの発達検査結果や療育手帳制度の説明を淡々と聞き、特に質問はなかった。

今回の相談

X年6月、療育手帳更新の判定を受けるため、母（40歳：会社員）、E（12歳：中学校1年生）、F（8歳：小学校3年生）が児童相談所に来所した。

児童心理司がFに新版K式発達検査2020を実施。Fは素直にひとりで面接室に入室し、初めは検査課題に対して協力的に応じようとするが、難しい内容になると「合っ

る？」と児童心理司に何度も確認を求めたり、途中からふざけて立ち歩いたりするようになった。児童心理司が席に戻るよう何度も指示してようやく検査課題に応じる状況であった。Fは検査中、褒められると素直に喜び、検査終了後はロビーで待っていた母に、「F、頑張った！」と報告していた。しかし母は応答せず、Eが「F、ゲームしていいよ」とタブレット端末を手渡していた。

続いて、児童心理司が面接室で母から日常生活状況を聴取する中で、母から次のような相談があった。

母からの相談内容

Fは家で思いが通らないとかんしゃくを起こす。異父弟H（3歳：保育園3歳児クラス）と対等に喧嘩し、Hを叩いたりする。自分の物ときょうだいの物を区別なく使い、そのまま放置する。歯磨きをしていないのに「歯磨きした？」と聞くと「やった」と嘘をつく。FはEの言うことは聞く。Gは黙ってFに譲ることが多く、いつも我慢している。継父と一緒に暮らしていた頃は、継父は日頃からFを厳しく叱責し、顔や肩を叩くこともあり、それはよくないと母が諫めていた。しかし半年前に継父が家を出て別居してからは、母がFの言動にイライラして、Fを叩いてしまいそうになる。学校では特に問題行動はないと、学級担任や支援の先生から言われるが、手のかかるFがいないと家の中が平和になる、Fを施設に預けたいと思うことがある。

新版K式発達検査 2020 結果

全領域DQ 64、DA 5歳9か月、CA 8歳11か月

認知・適応領域DQ 63、DA 5歳7か月

言語・社会領域DQ 66、DA 5歳11か月

判定当日の対応

児童心理司が母にFの発達検査結果を説明し、療育手帳B2での更新手続きを行った上で、母からの相談について、児童福祉司の面接に引き継ぐと伝えた。

児童福祉司による母との面接

療育手帳更新の判定の翌週、児童福祉司が母との面接を行った。

現在は母、E、F、G、Hの5人で生活。別居中の継父とHは二人で休日に外出している。

自転車です分の場所に実家があり、母方祖父（78歳）と母方祖母（66歳）が二人で暮らしている。実父と離婚するまでは、母方祖母がご飯を作って運んでくれるなど随分助けられていたが、母方祖母の反対を押し切って継父と再婚し、さらに継父と別居したことで、会うのが気まづくなった。一昨年からは母方祖父の介護が必要になった状況もある。

り、相談すれば文句を言いながら援助してくれるようにも思うが、気持ちの上で母方祖母に頼りにくくなっている。

電車で1時間ほどの距離に、母方叔母（母の3歳年下）夫婦、女兒2人の4人家族がいるが、年に数回会う程度で、母自身の今の状況を詳しく話していない。

家ではいつもFとHが喧嘩しており、騒がしくて気が落ち着かない。FやHを強く怒鳴って叱るとしばらく静かになるが、持続しない。継父にこの状況を話すと、母が甘く見られているからだと言われて腹が立つ。朝のうちに夕飯を冷蔵庫に準備し、EにF、G、Hの世話を頼み、仕事帰りに一人で居酒屋で酒を飲んでからF、G、Hが寝た後に帰宅する日が週に1回程度ある。このままでは、自己主張ばかりして自分でできることもやろうとしないFを叩いてしまう。Fを施設に預けて生活を立て直したい。

《問題》

設問 1

F について、記載されている発達検査結果と他の情報をあわせて、アセスメントしなさい。

設問 2

療育手帳制度について説明した上で、F に必要と考えられる支援について、児童心理司の立場から述べなさい。

設問 3

記載された情報を基に、F の家族三世代のジェノグラムを書きなさい。縦型・横型等の形式や記号の表記については不問とする。

設問 4

F の家族の経過を整理し、家族全体の現状をアセスメントしなさい。

設問 5

児童相談所として F の家族にどのような援助方針を立てるとよいと考えるか、具体的に述べなさい。